

手軽にコミュニケーションが取れるSNS (Social Network Service) は、個人、団体を問わず情報発信の便利なツールです。本学でもインスタグラムやLINEを使ってさまざまな魅力を発信している学科・専攻や部署があります。

インスタグラム、LINE...

リハビリテーション学科言語聴覚学専攻のインスタグラムは、日常の授業風景、学生や教員の視点から見た同専攻など、バラエティに富んだ内容となっています。専攻内の全教員が協力して週に1回は更新。全体的に明るい雰囲気となるよう写真の明るさに気をつけているそうですが、「担当者によって投稿内容に様々な個性が出てくるので、にぎやかな画面になっています」と統括役の平江満充帆さん（臨時教員）。ミニ動画では、名演技を見せてくれる先生も。運用にあたっては学生からのアドバイスをできる限り反映させ、若者目線の仕上がりを目指しているとか。平江さんは「教員や学生の愛が詰まったST専攻のインスタグラムをどうぞ温かい目で見守ってください」。

同学科生活機能療法学専攻も、インスタグラムで授業やゼミ活動、フィールドワークにいそむ学生たちの表情を中心に専攻内の日常を、写真や動画で丹念に追っています。こちらも専攻内の教員全員が協力して、1週間に1投稿以上を心がけているそうです。もちろん、編集には学生の協力が欠かせません。同専攻の目玉は非公式キャラクター「クマホットドック」。ページのトップで学生たちを応援しています。

このほか、入試・広報課では、「熊保大公式LINE」を運用しています。本アカウントでは、主に本学が企画・主催する広報イベントや入試に関する情報等を、高校生とその保護者に届けています。更新頻度は時期により変わりますが、1カ月に1～3回程度行っています。

図書館はLINEを通じ、「友だち登録」をした人たちに月に1回程度、最新情報を送っています。

このほか、健康・スポーツ教育研究センターもインスタグラムで情報を発信しています。（NL編集部）

熊保の魅力SNSで発信中

kumaho_st_



196 投稿 458 フォロワー 0 フォロー中

熊本保健科学大学 言語聴覚学専攻【公式】

言語聴覚士・言語聴覚学専攻についての情報を発信します😊🌈👉お気軽にいいね・フォロー・シェアしていただくと嬉しいです👉
#言語聴覚士 #言語聴覚学専攻 #言語聴覚士の卵 #仲良し

www.kumamoto-hsu.ac.jp/index.php

プロフェッショナルダッシュボード
過去30日間に1,162件のアカウントにリーチしました。

プロフィールを編集 プロフィールをシェア



kumaho_ot



51 投稿 246 フォロワー 3 フォロー中

熊本保健科学大学 生活機能療法学 (OT) 専攻【公式】

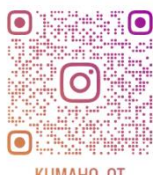
熊本県唯一の作業療法士養成4年制大学です
#作業療法 #作業療法士 #リハビリ #リハビリテーション #熊本保健科学大学 #熊本 #大生 #大学生 #kumamoto

www.kumamoto-hsu.ac.jp

フォロー メッセージ



KUMAHO_ST_



KUMAHO_OT



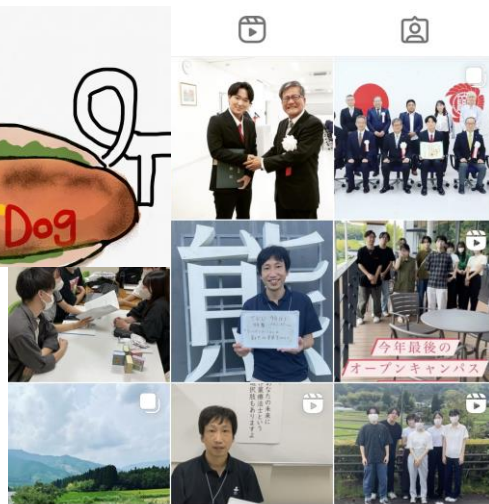
LINE



@RCHSSKENSPO



生活機能療法学専攻のインスタグラムと、同専攻の非公式キャラクター「クマホットドック」



言語聴覚学専攻のインスタグラム

アクセスはこちらから

上段左からSTインスタ、OTインスタ、本学LINE。下段は、健スポセンターQRコード

2024年度入試 総合型選抜 70人挑む

2024年度の総合型選抜が14日（土）、本学で行われ、70人の受験生たちが午前中の小論文試験、午後個人面接とポスター発表に臨みました。朝から雨模様の天気でしたが、1人の欠席者もなく、試験は滞りなく終了しました。（入試・広報課）

◆今後の入試日程◆

- 11月4日（土）＝学部の社会人選抜、助産別科推薦、大学院推薦・社会人選抜Ⅰ期
- 11月18日（土）＝学校推薦型選抜（指定校・公募）
- 12月2日（土）＝助産別科一般選抜
- 2月4日（日）＝一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期）
- 2月24日（土）＝大学院一般選抜、社会人選抜Ⅱ期
- 3月4日（月）＝大学入学共通テスト利用選抜（後期）

医療講演会

日常の中で研究マインド持って

順天堂大・宿谷教授 丸細胞めぐり共同研究に期待

順天堂大学医学検査学科の宿谷賢一教授＝写真＝による医療講演会が13日（金）、50周年記念館で行われ、医学検査学科2年次の学生や教職員が聴講しました。

宿谷教授は、国立大学附属病院検査部の臨床検査技師として長年臨床検査に携わる傍ら、尿沈渣の研究を続けてきました。今回の講演では、自身の経験を踏まえて尿沈渣の歴史や検査の進歩、また多くの尿沈渣症例や研究の概要などに触れ、日常業務を行いながら研究マインドを持つことの重要性を訴えました。

講演の後半は、長年の研究テーマである丸細胞の話を中心に据え、この細胞が尿中に出現する尿細管上皮細胞の前駆細胞としての可能性があることや、細胞の出現頻度と腎障害の予後との相関について、多彩なデータを交えながら報告しました。



丸細胞は、腎障害を早期に発見できるバイオマーカーの可能性のあるものの、未だ解明できていない未知の部分も多く秘めています。宿谷教授は、今後、本学教員との共同研究へ発展していくことに期待を寄せていました。（医学検査学科 亀山広喜）

リハビリテーション学科言語聴覚学専攻の必修科目「言語発達障害学Ⅰ」と「小児系発話障害学」の一環である学外演習が12日（木）、近くの五丁子ども園と西里保育園で実施され、同専攻2年次生25人が園児たちと交流しました。

ST専攻2年次生 学外演習で園児と交流

同演習は、幼稚園・保育園で実際に子どもたちや教諭・保育士とかかわることで、言語聴覚士を目指す学生たちが現場を知り、学んできた知識をさらに深めることを目的としています。

この日は、五丁子ども園に13人、西里保育園には12人が訪問。五丁子ども園では、3人程度の班に分かれ、2～5歳児の各クラスで粘土遊びや野外活動などを通じて園児たちと楽しく交流していました。4歳児クラスを担当した伊東紀杏さんは、「子どもたちは思った以上に体力がありました」と驚きながら、「着替えなど一つひとつの動きに時間がかかりました」など、現場で体験した「大変さ」を口にしていました。（入試・広報課）



粘土を使って園児たちと交流する本学の学生たち（五丁子ども園）



屋外で子どもたちの遊びを見守る学生たち（五丁子ども園）

保育の現場「大変さ」も経験

101医療施設参加し合同説明会 リハ学科3、4年生

リハビリテーション学科3、4年生（学外実習期間中のOT3年除く）を対象にZoomを使用したWebリアルタイム形式の合同就職説明会を9月21日（木）、22日（金）、開催しました。

施設情報を把握するとともに、自分の職業観を再確認し、進路決定の一助としてもらうのが狙い。2日間で101（県内42、県外59）の医療施設の採用担当者らが参加し、各施設の業務内容や教育体制、採

用情報などについて説明しました。学生からは「実際に話を聞くと雰囲気がよく分かって良かった」などの感想がありました。

これからリハビリテーション学科4年生の就職活動がピークを迎えます。今回の経験を糧にして、希望する施設への内定を勝ち取ってほしいと思います。

（就職・実習支援課）

学びの集大成 堂々と披露

理学療法学専攻
卒業研究発表会

PTの卒業研究発表会で質問に立つ学生



リハビリテーション学科理学療法学専攻4年次の卒業研究発表会が9月27日（水）、50周年記念館で開催されました。

4年生42人が19のグループに分かれ、指導教員とともに作り上げて研究成果を発表し、3年生がオンラインを通じて見守りました。発表後、学生たちから多くの質問が飛び出し、活発な議論が展開されました。

同学科生活機能療法学専攻の卒業研究発表会は10月20日（金）からmanabaを用いたオンライン上で実施。同学科言語聴覚学専攻の卒業研究発表会は、11月以降に実施予定です。（入試・広報課）

私の秘話
★
ヒストリー



看護学科 早木 幸江助教

「はやきみせのおばちゃん」

秘話ヒストリーといえるかちょっと不安ではありますが、私の実家はひいおばあさんから続く駄菓子屋です。今は、母が「はやきみせのおばちゃん」として店主を務めています。

「はやきみせ」は、老若男女問わずに愛されていて、小さかった子どもが大人になり、子どもを出産して「はやきみせのおばちゃん」に見せたいと言って訪ねてくるようなお店です。そして、私の母は地元ではちょっとした有名な存在でもあります。

「はやきみせのおばちゃん」とお客

さんである子どもやその親、そして地域の人たちとは心理的距離がすごく近く、何でも言い合える関係性が構築されています。「はやきみせのおばちゃん」と子どもの関係を近くで見ていると、「はやきみせ」が社会性を育みながら、多感な時期における心の避難場所ともなり得るといえ、人間関係が希薄となりつつある今の世の中にはすごく大切な場所だと思います。小さいときには感じなかった魅力を大人になって感じています。